

ニュース

NEWSな PHOTO

フォト

温室効果ガスの削減や有機農業への新規参入も期待

11/22
火

土壌の違いが野菜の収穫量を変える？



春木勘右工門新田の畑で、かんばやし農林合同会社の作業協力のもと、①有機肥料を混ぜた人工土壌、②科学的分析結果に基づき肥料を入れた土壌、③これまで通りの通常の農法の土壌の3つの土壌で同じ玉ねぎを育て、収穫量などの違いを検証する取組がスタートしました。

この日は障がい者就労継続支援 B型事業所「オージースタイル」の皆さんがそれぞれの土壌のうねに玉ねぎの苗を植えました。玉ねぎは6月頃に収穫し、給食にも使われる予定とのこと。

9市町の文化協会が出演

11/27
日

東尾張部芸能大会

東郷町を含む東尾張の9市町の文化協会が出演する「愛知県文化協会連合会 東尾張部芸能大会」が町民会館で開催されました。

会場持ち回りで実施されるため、東郷町で開催されたのは9年振り。会場には各市町から多くの観客が来場しました。

開会式典では大村愛知県知事からのあいさつもあり盛大にスタート。演目は琴の演奏から始まり、三味線や社交ダンス、ミュージカルなど多彩で観客を楽しませていました。締めくくりは東郷町の諸輪囃子太鼓で、小気味よいリズムと迫力ある音が会場に響き渡りました。



親子のコミュニケーションを図りましょう

10/28・11/5
金 土

多文化子育てサロン

本町と名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学との連携事業として開催しているこのイベントに両日合わせて15組37人の親子が参加しました。

第3回は「親子のからだ遊びと日本、世界の遊び」としてけん玉やお手玉などの昔ながらの日本の遊びやモルックなどの世界の遊びを自由に体験して遊びました。

第4回は「大切！早寝早起き朝ごはん」と題し、保育園・幼稚園入園に向けて規則正しい生活リズムを作るため、早寝早起きやしっかり朝ご飯を食べること、またそのために、夕飯の時間を決めることが大切だという話をした後、参加親子が2チームに分かれて、カードめくりゲームを楽しみました。



防災リーダーによる教室を開催

11/11
金

諸輪小3年生が防災について学ぶ



NPO法人あいち防災リーダーの加藤千恵子さんらが、諸輪小学校の3年生を対象に防災教室を開催しました。

「寝室に避難用の靴を用意する」「非常時に備えて食べ物や飲み物などを用意する」など、地震が起こったときにどんなことを気を付けるべきか大きなスクリーンを使った紙芝居やクイズでわかりやすく説明しました。

その後、避難時に靴がないことを想定して新聞紙で紙スリッパを作り、片足だけ履いてがれきに見立てた石の上を歩きました。「紙なのに、履いていると全然痛くない！」と紙スリッパの丈夫さに驚く子もいました。今日の体験を契機に、それぞれのご家庭で防災意識が高まることを願います。

3年振りの開催で大きなにぎわい

11/12・13
土 日

第40回東郷町文化産業まつり



文化芸術の発展や産業振興を目的とした町内最大級の祭典「文化産業まつり」がいこまい館や町民会館などを会場として2日間に渡り開催され、約8,100人の人が来場されました。

初日の芸能大会では、子供お琴教室の箏曲の演奏から始まり、ハワイアンダンスや囃子太鼓など多様な演目が披露されました。また、町民会館入口では、町内有機農業者こだわりの農産物を対面販売するマルシェなどでにぎわいました。

2日目は、いこまい館芝生広場で「東郷太鼓サークル 華鼓」による迫力ある太鼓の演奏から始まりました。いこまい館や町民会館、JAあいち尾東東郷支店では飲食店や農作物の販売、企業おしごと体験などが出展し、来場者は3年ぶりの文化産業まつりの雰囲気を楽しんでいました。

また、2日間を通して総合体育館では絵画・書道などの作品展示やクリスマスリースづくりなどの体験コーナーが開催されました。